

## レジャイナ大学 サマープログラム 留学報告書

教育学部

### 選んだきっかけ

多民族国家であるカナダへ行ってみたいと思っていたこと、ホームステイができるという点に惹かれました。また、レジャイナはバンクーバーなどに比べて田舎であるため旅行で行くことがなく、イメージとは違うカナダを見ることができるのではないかと考え応募しました。

### 授業について

初日に行われるテストによってクラス分けされます。4段階 10 クラスほどに分かれており、私のクラスはメキシコ人と日本人(山口大学・都留文科大学・千葉大学)が半分ずつでした。メキシカン流に英語を話し、訛りがあるのではじめは理解することが大変でした。しかし、ノリがよくおしゃべりなのですぐに打ち解け、メキシカンの寮でダンスをレクチャーしてもらったり、文化を紹介しあったり、一緒にご飯を食べたり、お出かけをしたり…本当に楽しかったです。他大の方々もとても親切で、帰国後お互いの県へ旅行することになっています。授業の先生は、レジャイナ大学で第二外国語に英語を選択する留学生の教鞭をとっている、カナダ人の方でした。きれいな発音で聞き取りやすくフレンドリーで三週間の授業があつという間でした。教科書を用いたリーディングやディスカッション、リスニングがメインでした。恥ずかしがらずに英語を話すことができるようになりました。

### ホームステイや生活について

私の家族は 60 代の夫婦、犬、甲南女子大学の日本人(初めの二週間のみ)でした。料理が上手で毎食ご飯が楽しみでした。また両親ともに親切で有意義な時間を過ごせました。週末には近くに住む娘家族や親せきと一緒にパーティーをしました。ステイ先の希望には、活動的でお出かけをしたりたくさん会話に付き合ってくれる家庭と書きましたが、あまり希望に沿っていないと感じました。自分が調べた博物館やアメフトの試合に行きたいことを伝えると、協力してくれましたが、ホストファミリーからどこかへ行く誘われることはなかったです。他大の友達は週末にキャンプへ行ったり、一緒に日本食パーティーをしたりもしていました。気温は日本でいう秋という感じで、長袖裏起毛の服で快適に過ごせました。特に朝晩は冷え込み乾燥するため対策が必要です。移動手段は街を網羅するバスかホストファミリーの車でした。人が乗るような電車や地下鉄は通っていないそうです。バスの運転手さんは本当に親切で何でも教えてくれます。

### 渡航前後について

昨年と異なり 8 月 11 日～8 月 31 日のプログラムであったため出国時はお盆、帰国時は夏休み最終日の帰国ラッシュで、航空券が高く空港が混んでいました。留学すると決めたら早めに航空券を手配したほうがいいです。旅行会社を通すと少し高くつくため、私の場合エア

カナダのサイトから直接予約しました。